

令和元年8月30日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標題 | 令和元年産多伎いちじく出発式開催

(ダイジェスト)

8月23日、多伎町農産物集荷所において令和元年度の多伎いちじく出発式が開催されました。販売高7,800万円（前年比114%）、出荷量124t（生果54t、加工原料70t）を目指し、10月下旬まで収穫を行います。

出発式はJAしまね出雲地区本部多伎いちじく生産部会（部会員86名）の部会員と、関係者を含め約60名が参加して行われました。

多伎いちじくは全て「蓬莱柿」と呼ばれる品種で、今年の露地ものは昨年より3日遅い8月12日から収穫が始まりました。今年の多伎いちじくは、高温のためやや色づきが悪いものの、糖度は例年に比べ高く市場からの評価も良好です。

部会では、毎年部会員から出荷スローガンを公募し、集荷所の入り口に垂れ幕を掲げています。出発式当日はあいにくの雨でしたが、加工原料を合わせると昨年を上回る量が出荷され、「フレッシュスタート」を切ることができました。

多伎いちじくは、これから約2ヶ月にわたって県内外12市場に出荷されます。いちじくは毎日収穫する必要があるため、部会員はこの間休みなく毎朝6時から収穫を始め10時半までには出荷を終える忙しい日が続きます。



「ほーらいちゃんの合図でテープカット」



集荷所の入り口に掲げられたスローガン